

CHOHO



Vol.8

長崎大学広報誌【長報・チョーホー】

2004年7月 (年4回発行)

Summer

特集

国立大学法人

長崎大学の航海図

6人の理事の新たな決意

【表紙】について

「侵食」 高橋五紀(たかはしいつき)

長崎大学教育学部
情報文化教育課程芸術文化コース(美術)4年

橙色の画面が、黄色に内部から、緑色に外部から侵食されていく様子が描かれています。

「モチーフは菌類。弱肉強食の掟の中で、相手を自分の一部にしてまで拡がろうとする彼らの姿に、輝くような生命力を感じる」という作者。「侵食された側は、別の生命の一部となって存在を主張し、それを生かす役割を担う。だからといってマイナスのイメージではない」。個体が放つ生命力は、個だけのものではなく、生きとし生ける物の輝きにつながっているというメッセージが伝わってきます。



個性あふれる教育と国際交流

長崎大学長 齋藤寛



六月三〜五日に、学術交流協定調印式のため韓国濟州大学校へ行ってきました。

本号で紹介しているように、長崎大学は現在、六十三の外国の大学・研究機関と学術交流協定を結んでいます。なかでも、中国、韓国に交流協定締結大学の多いことがお分かりでしょう。

これには、長崎大学の前身の長崎医科大学（現・医学部）や長崎高等商業学校（現・経済学部）の時代から中国、韓国と関係が深かったという歴史特性があります。何しろ、長崎大学医学部同窓会には台湾支部があるのですから、もうひとつの理由に、長崎と韓国、中国は、日本海、黄海、東シナ海を介して相接する一衣帯水の間柄であり、水産学、環境科学、経済学など多くの学問分野で共通の課題を持つという地域特性があります。

濟州大学校での調印式で、私はハンダグ語による短い挨拶をしました。学長の私にはわか勉強ですが、長崎大学の学生は違います。

日本の大学では、外国語を二ヶ国語勉強します。英語は必須、もう一つが選択必須です。どの外国語を選択で

きるかは大学によって異なりますが、ドイツ語、フランス語、中国語などがあります。

長崎大学では、一〜二年次の学生三、四〇〇人中一、八〇〇人が中国語を、三〇〇人がハンダグ語を、それぞれ初習外国語として勉強しています。このことは長崎大学の語学教育の特徴の一つです。

長崎大学のホームページを開いてください。日本語のほか英語版がありますが、これは当たり前、どの大学にもあります。しかし、ハンダグ語と中国語バージョンを持っているのは全国で長崎大学だけかもしれません。

長崎大学が長崎という歴史特性、地域特性を生かし、ほかの大学とはひと味もふた味も違った個性あふれる教育と国際交流を目指していることが「合点」いただけましたか？

八月十九日は長崎大学オープンキャンパスの日です。多数の高校生諸君の来学を待っています。

「受験するなら長大、勉強するなら長大、部活も長大」、これ「長崎大学のキャッチフレーズ」。

※ 長崎大学ホームページ：<http://www.nagasaki-u.ac.jp/>

追伸：学長メッセージ (<http://www.nagasaki-u.ac.jp/>) にもアクセスしてご意見をください。

メールアドレス：president@ml.nagasaki-u.ac.jp 必ずお返事します。

HIROSHI SAITO

CONTENTS

- P01 【特集】国立大学法人 **長崎大学の航海図**
- P08 【恒久平和を願って】長崎如己の会 久松シノノさん
- P10 【研究】有明海プロジェクト
- P12 【We Love Circle】長崎大学管弦楽団
- P13 【たかが食事されど食事】食と心と身
- P14 【グローバル・コミュニケーション】世界に開かれた長崎大学 【留学生のお国自慢】中国
- P16 【古写真・昭和ルネサンス】浦上天主堂
- P17 【インフォメーション】・【編集後記】

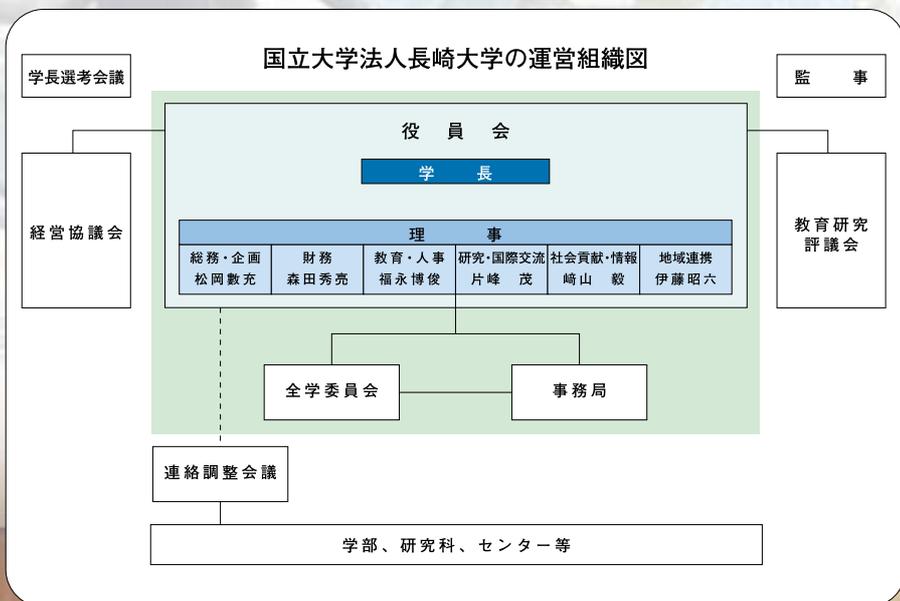
長崎大学の航海図

～6人の理事の新たな決意～

今年春の国立大学の法人化で、新たに船出した長崎大学。
その航海図を描き、舵取り役を担うのが、
学長を中心とする役員会です。

役員会は、齋藤学長と6人の理事で構成されます。
それぞれの理事は、「総務・企画」、「財務」、「教育・人事」、
「研究・国際交流」、「社会貢献・情報」、「地域連携」の
各分野を担当します。

今回は、それぞれの理事に、担当分野の展望と抱負について
語っていただきました。



総務・企画

法人の旅立ち

CHOHO • 02



▲長崎大学の卒業記念に贈られていた文鎮。「高きより高きへ」を意味するラテン語が刻まれている。



Kazumi Matsuoka

松岡 數充 理事

長崎大学は、これまでの文部科学省の外的組織(本省に対しての出先機関)から切り離されて、新たに法人として旅立ちました。この出発は大学人が望んでいたことか否かは問わないとしても、おそらく元に戻ることはないでしょう。歴史の歯車が一つカチッと廻ったのです。

法人のオンリーワン

法人とは人ないし財産からなる組織体に法により人格(権利と義務)が与えられたもので、自然人と同様にさまざまな法律行為や経済活動をなすいう人格を持った団体組織であるといわれます。とすればすべての人が個性を持っているように、法人にも個性が備わっているでしょう。

個性とはその個人にしかない「オンリーワン」の性格・性質です。法人も「人」であるならば法人に「オンリーワン」があるとの考えを受け入れることにさほどの違和感を覚えることはありません。オン

リーワンはどのようにして創られるのでしょうか。この世のすべての存在は歴史の所産です。すべてが異なった歴史を持っているがゆえに、同じものはありません。人を含むすべては永久不変ではなく時間とともに変化していくがゆえに、それぞれに異なっているといえます。

次世代のオンリーワン

「人」の出自を変えることはできません。しかし人柄は変わりうるし、またそれを変えることもできます。こうしてみると今ある長崎大学の「オンリーワン」もいつまでも続くものではありません。次世代に向けて今に続くオンリーワンを見つげ出さなくてはなりません。それは法人としての自己を客体化し、謙虚に自己を見つめて評価した後生まれたいかと思えます。

「自然人」は、それぞれの細胞が組織化されて器官となり、さらに器官が組織化されて系が形作られ、それらが有機的

に連結し、自律的に行動する生き物です。それぞれの細胞はそれぞれの器官で「人」を支えるために活動しています。生物として組織化された「自然人」は、時とともに老い、やがては死を迎えます。不死ではありません。法人も「人」であるがゆえに老化を避けることができま

再生させ、その「人」を支えていかなければならないのです。産まれたばかりの我々を例えて言えば保育器の中で育てられているようなものです。我々はこのに入ったままではなく、早晩、九州へ、アジアへそして世界へと一人で歩き出さなければなりません。「高きより高きへ」の下に。



財務

大学運営経費の 安定的確保



Syusuke Morita

森田 秀亮 理事

り組む事業のための予算を一定額確保していく方針であります。この場合、部局の意見も聴取しながらできる限りの情報提供を行い、透明性の確保にも努めていくこととしています。

創意工夫による収入増への期待

長崎大学の運営に必要な経費を確実に、かつ安定的に確保していくことは、必ずしも容易なことではありませんが、職員の方々の工夫なり努力によって実現可能と考えています。

その一つは経費の効率的・効果的な使用に努めて経費の節減を図ること、二つ目は21世紀COEプログラムや科学研究費補助金等の競争的資金を獲得すること及び研究成果としての特許等の知的資産を活用することによって収入の増加が図られますので、これについては大いに期待したいと思います。

※中期目標：中期計画：長崎大学が掲げる理念を達成するために、平成十六年四月から平成二十二年三月までの期間の目標計画のこと。



大学法人としての適切な財務運営

財務の業務は、長崎大学の運営に必要な経費(資金)の確保、学内の予算配分、予算の執行管理並びに施設の整備及び維持管理に關することであり、

大学の運営経費は、これまでは国から配賦される歳出予算に依存していましたが、国立大学法人化後は、国から交付

される運営費交付金及び施設等の補助金(全体の約四十八%)並びに長崎大学が自ら確保していかなければならない自己収入(授業料等収入、附属病院収入、資産活用収入、共同研究等収入、寄附金収入、長期借入金収入で全体の約五十二%)により賄われることとなりますので、自己収入の確保いかによっては、

大学運営に影響が生じることになります。また、今年度から予定されている医学部・歯学部附属病院の再整備事業に必要な経費は、そのほとんどが長期借入金によつて整備されますので、この借入金は病院収入で返還していかなければなりません。

このように、大学の運営に必要な経費の大部分は自己収入によつて賄われることについて、職員は十分に認識し、それぞれの職場において自己収入の確保に努めていただくことが重要であります。

以上により確保された運営経費は、大学の自主性、自律性の下で効果的な予算配分を行うことが可能となります。

この予算配分にあたっては、**中期目標**・**中期計画**の着実な実現に向けて法人化にふさわしい予算配分とする必要がありますので、平成十七年度以降は、事業費全体としての執行状況の分析を行い、長崎大学として教育・研究活動及び診療に要する基盤的な経費のほか重点的に取

教育・人事

学生顧客主義と 人的資源の有効活用



Hirotohi Fukunaga

福永 博俊 理事

学生顧客主義

「大学での教育を通して入学者に十分な付加価値を付けて社会に送り出す」。

このことが国立大学法人の使命であり、その成果が今後の大学の生き残りを左右します。長崎大学中期目標中期計画の中で述べられている「学生顧客主義」は、まさに、この使命に取り組み私たちの姿勢を表現したものです。十分な教育を行うためには、入り口である「入学者選抜」、在学生への「教育と学生生活支援」、出口である「就職」のそれぞれを充実させる必要があります。教育には学部ごとの専門性があるため、各学部への取り組みを欠かすことはできませんが、大学としての方向性の決定と各部署の取り組みを支える全学的取り組みを従来にも増して充実させる必要があります。すなわち、

■大学としての教育に関する方向性の明確化

■教育のための先端的センターである「アドミッ

ションセンター」及び「大学教育機能開発セ



ンター」の機能の整備・充実

■学生生活支援、就職支援組織の整備・充実

※ファカルティ・ディベロップメントを通じた教員

の教育能力の向上

などが重要であると考えています。

平成十五年度の「特色ある大学教育

支援プログラム」では、長崎大学から二つの

取り組みが採択されました。一大学から

二つの取り組みが採択された国立大学は長崎大学のみでした。このように、見える形で成果を残していくことも重要であると考えています。

人的資源の有効利用

教職員の活動を支えるのが人事制度

です。従来の「国によって決められた人事

制度」から「大学の持つ人的資源を有効

活用できる人事制度」への変革の必要性を痛感しております。しかしながら、法人化に際しては短時間のうちに制度を構築する必要があり、国立大学当時の制度をほぼ引き継ぐ形で法人化後の人事制度がスタートしました。今後は長崎大学独自の人事制度を構築して行く必要があります。このとき、

■大学の中長期的なビジョンに基づき、部局研究科等を超えた教育・研究戦略を達成できる柔軟な人事制度の構築

■大学への貢献度に応じたインセンティブを付与する制度の充実

■国立大学当時は困難であった勤務形態など、多様な人事制度の構築

■職場としての大学における労働環境の整備などが重要であると考えています。

※ファカルティ・ディベロップメント

「Faculty Development」…「大学教員の資質開発」を意味する言葉。日本では、大学の教員が講義内容や方法を改善し、向上させる試みを組織的に行うなど、新しい大学教育を創造する場と理解されている。

※インセンティブ

「incentive」…やる気を引き出すために業績に応じて与えるもの。例えば、報奨金など。

研究・国際交流

卓越した 知の創造に向けて



Shigeru Katamine

片峰 茂 理事

特色ある研究者集団の育成と支援

長崎大学は法人化にあたっての中期目標・中期計画の冒頭で、世界にとつて不可欠な「知の情報発信拠点」であり続けることを宣言しました。「知の情報発信」の意味するところは、一に知的付加価値を身に付けた有為の人材の輩出であり、二に研究活動を通じた卓越し

た知の創造であると理解しています。研究担当理事としての主要な任務は、後者の推進・振興ということになります。

しかるに研究活動は、個別的要素が強く、その成否は研究者個人もしくはそのグループの蓄積や能力にもとづくウハウと発想力によるところが大きいと思います。研究振興の基本は人材であり、



知の
情報発信拠点

各分野における「世界と戦える特色ある研究者集団」の構築が必須です。そのような組織に対してこそ大学として重点的支援が可能となります。大学としては、中期計画に記された重点推進課題(既設の21世紀COEを含む)の具体的推進方策の立案に早急に着手します。そして外部からの研究資金獲得を支援するための戦略的^{*}インフラを整備し、とりわけ重点推進課題については大型外部資金の導入を実現したいと思います。

国際協力は大学個性発揮のみち

国際協力の分野に関しては留学生受け入れの観点とともに、教職員・学生の海外派遣の観点も重要です。留学生対策に関しては、多くの課題の中でも、支援のためのインフラ整備と財政基盤の確立には早急に取り組む必要があります。現行の留学生後援会による集金能力の限界は明らかであり、見直しが望まれます。教育研究全ての領域を包括した

大学全体としての後援会(営業能力を備えた)を構想すべき時機であり、その中で留学生支援のための財政基盤を確立していくことが最良の方途であると思います。

一方、海外派遣に関してはこれまで大学としての組織的取り組みはほとんどなかったように思います。既設の二つの21世紀COE(「放射線医療」と「熱帯病・新興感染症」)の共通のキーワードが「海外拠点」と「国際貢献」であることが端的に示すように、21世紀長崎大学の個性発揮のみちが国際協力・国際貢献にあることは明白です。本学の人材が海外現地において縦横に活躍できるためのインフラ整備が焦眉の課題です。資金の受け入れから人材の確保・派遣までを担える、国際協力で特化した新たな仕組みの導入を実現したいと考えています。

※インフラ

インフラストラクチャー(Infrastructure)の略。ここでは「基盤となる組織」を意味する。

社会貢献・情報

知的財産創出と 情報基盤の整備



Takeshi Sakiyama

崎山 毅 理事

研究成果活用への機動的取り組み

大学の基本的使命は、教育（知の伝達）と研究（知の創造）ですが、創造された知の活用に必要な価値をおく知識社会の時代を迎えた今、この直接的な社会貢献につながる知の活用活動に対して、大学が機関として取り組むことが強く求められています。もちろん、長崎大学における研究成果は、これまでも教員個人々々

と社会との連携の努力によって数多く活用されてきています。しかし、教員個人々の努力のみを基本とした取り組みには限界があるため、全体として、長崎大学の研究成果が十分効果的に活用されてきたとは言いがたい状況がありました。

研究成果は長崎大学の知的資産

この四月一日に、国立大学は法人化さ



れ、長崎大学も法人格を持つようになりました。大学が法人格を持つようになり、大学における教育・研究のすべての権利・義務が、大学法人に帰属することになりますので、教員等の研究成果を原則的に機関帰属の知的資産とすることができ、この知的資産の機関帰属の原則は、長崎大学の知的資産を活用して社会貢献する責務が国立大学法人長崎大学にあるということの意味しています。

重要な研究成果の社会への還元

知的資産の活用による社会貢献に関しては、文系、理系、分野によっていろいろな貢献の形が考えられますが、今、特に強く求められているものは、発明等の知的財産の活用による社会貢献です。具体的には、産学官連携にもとづいて、大学の発明等の技術移転を推進し、新事業、新産業等の創出に資する貢献です。

したがって、社会貢献面の当面の主要

課題は、全学的な知的財産意識の高揚にもとづく発明等の創出促進、創出された発明等の適正管理等を担当する知的財産本部の整備充実および発明等の権利化、技術移転活動等を担当する長崎TLOの機能強化等であると考えています。

情報基盤の整備

ほぼ十年來、大学における情報基盤とそれにもとづく教育・事務業務の電子情報化は著しく進展してきていますが、長崎大学においてはその対応が十分であったとは言いがたい状況です。法人化を契機に、長崎大学は学生の勉学意欲の向上につながる教育環境を提供し、また、さらに研究の高度化・個性化を図ると共に、機動的で効率的な経営体制を確立することに取り組みはじめています。それを支えるためには、長崎大学における一元的な情報管理活用体制の確立とそれを支援する情報基盤の整備が緊急の課題であると考えています。

地域連携

大学と地域との連携



Syoroku Ito

伊藤 昭六 理事

親方日の丸からの脱皮

「国立大学法人って何ですか。国立大学とどこが違うんですか」とよく尋ねられます。

国立大学法人とは、齋藤寛学長の言葉を借りれば、「国立大学は親方日の丸の気持ちでもらっては困る。世界第一級の教育・研究を行い、優れた人材育成、顕著な社会貢献がない限り国は面倒をみない」ということです。

地域密着をめざした取り組み

長崎は、鎖国時代、わが国の海洋文化の唯一の窓口でありました。

長崎大学は、教育・研究の両面でトップレベルを目指し、知の創造と承継と発信の拠点として、地域に密着し、個性のある魅力ある大学でなければなりません。

昨年の「長崎くんち」で、長崎大学は、「南蛮船」を奉納する銅座町と一緒に、時代考証の研究や根柢衆の体力づくりなどを応援し、さらに当日、諏訪神社の

踊馬場で、銅座町の自治会の役員の列の中に、羽織・袴に山高帽姿の齋藤学長を見付けた市民の皆様は、長崎大学をとても身近に感じたようです。

そして今、学生たちが商店街の皆さんと一緒にその振興のアイデアを出し、ボランティア活動やまちづくり運動へ参加したり、出島のオランダ商館での「長崎大学所蔵古写真展」の開催など、大学と地域との連携がはじまっています。

長崎大学では、次のような事業を推進したいと思っています。

- (一) 社会人の受入れ、生涯学習のコースの開設
- (二) 附属図書館の開放、公開講座、サテライト教室、オープンキャンパスの実施
- (三) 地域産業界との共同研究、地域と密着した先端技術の開発、導入の支援
- (四) 地域の要求を研究課題とした掘り起しによる新たな研究領域の開拓
- (五) 附属病院をはじめ医歯薬学系と行政との連携による成果の地域還元、輸入感染症に対する熱帯医学からの診断・治療に関する相談

- (六) 小・中・高校を対象とする離島教育。現職教員再教育のための研究会、各種研修の実施
- (七) 大学の人的・知的資源と施設の活用
- (八) 県・市町村と大学との協力体制の強化
- (九) 長崎学の研究成果の公開と活用
- (十) 被爆地長崎の大学として、核兵器廃絶及び世界平和の推進

大学の構内を、いつでも気軽に通り抜け、子供連れで散策したり、憩いの場としての雰囲気大切に、自分たちの街の大学として、皆様に親しまれ、頼りにされる開かれた長崎大学でありたいと思っています。

県民の皆様のご協力とご支援をお願いいたします。



恒久平和を願って、 永井隆博士を語り継ぐ

特定非営利活動法人(NPO)

長崎如己の会副理事長 久松シソノさん

Shisono
Hisamatsu

1924年長崎市(旧西彼杵郡三重村)生まれ。45年、長崎医科大学物理的療法科で勤務中に被爆。被爆直後より永井隆博士とともに救護活動に従事。85年、長崎大学医学部附属病院の看護部長を定年退職後、永井博士を顕彰する組織、「長崎如己の会」を結成。現在、平和の語り部として活動を続けている。

59年前の夏、長崎医科大学(現医学部)附属病院で

被爆した、久松シソノさん(当時看護婦長)。

被爆直後より永井隆博士とともに救護活動に従事した経験や

壊滅的な打撃を受けた長崎医科大学での悲惨な状況、

そして、平和への願いについて語っていただきました。

永井先生との出会い

私は、昭和十六年(一九四二)に長崎医科大学の看護婦養成所(長崎大学医学部保健学科の前身)を卒業後、同大学病院の小児科に勤務しておりました。子供が好きで一生懸命働いていましたら、ある日、永井先生がいらつしやる物理的療法科(現在の放射線科)の婦長職を命じられました。小児科が好きだったことや、物理的療法科が新しくできたばかりで不安があったことから、悩んだ末にお断わりになりましたところ、永井先生がいきなり、「今日は婦長さんの歓迎会をするぞ」とおっしゃって教室員のみんなを集めるのです。しかも、お箸を鼻につけ、ザルを抱えてエッサッサ、エッサッサと「ドジョウすくい」をはじめたのではないですか。私は、困ったなと思いつつも、先生の天真爛漫で愉快なお人柄に魅せられてしまったのです。

先生は責任感が強く、患者さんをとて大事にされ、どんな方にも平等に接しておられました。満州事変と日中戦争に、軍医として従軍した経験もあり、戦場では敵味方の区別なく治療にあたりていたそうです。

当時は、結核患者が多く、大学の診療が終わると毎日のようにレントゲンの集団検診をやっておりましたが、物資が

不足し、レントゲンフィルムも戦地に持って行かれてしまい、レントゲン画像を肉眼で透視せざるを得なくなりました。それが危険であることは先生はもちろん承知の上です。そうして先生は、原爆の二ヶ月前に慢性骨髄性白血病にかかり、余命三年と診断されました。

原爆投下直後の惨事

原爆投下のとき、私は内科病棟の地階の婦長室におりました。突然、ピカーッと閃光があつたかと思うと、真つ暗闇になり、床に叩きつけられて瓦礫の下敷きになったのです。

しばらくして看護婦のひとり私が私を呼ぶ声がありました。返事をしようにも、瓦礫の碎けたものが口に詰まって声が出ません。やつこの思いで抜け出して、市内の方を見ると一面火の海で、稲佐山も恐ろしいほどに炎々と燃え広がっておりました。

建物も樹木も何もかもなぎ倒され、地獄絵図さながらの状況下、かろうじて難を逃れた人たちが病院玄関前に集まりました。しかし、その人々も髪が爆風で針

金のように立ち、顔や身体はススで汚れ、服も裂け、男か女かわからないほどです。そこに、右側頭動脈が切れ、顔も軍服も血で染めた先生がおられました。そのうち病院へも火が廻り先生は、「一大事とは今日ただいまの心なり」とおっしゃいました。

先生の指
示で教室
員は、

負傷者
を助けなが
ら病院裏の芋
畑へ向かいました。

ときの角尾学長も、

先生と同じ病院本館

の二階で診察中に被爆され、
先生の指示により救出に向かった教

室員に背負われてきました。すると先生は大声で、「学長先生はここだ。大学本部はここだぞ。みな集れ！」と叫ばれ、ときに倒れながらも必死に指揮をとり続けて



おられました。

病院のコンクリートの中にいた人たちは、即死はなかったものの、爆風と高熱と放射能を浴び、身につけていたものは剥がされ、ガラスの破片で負傷したり、火だるまのようになっただけでした。

学生たちの無念

病院に隣接していた医学部は木造だったので全滅でした。夏休みでしたが、早く戦地に学徒を送り出そうとして、繰り上げ授業をしていたため大勢の学生が犠牲になりました。その近くで、防空壕を掘っていた附属薬学専門部(薬学部前身)の学生も、作業中に犠牲になりました。掘りかけの穴の入り口には、数体の学生の死体があり、そばで苦しうにころげ回っている学生がいるなど、たいへん

な惨状でした。手当てを施そうにも爆

風と高熱で皮膚はバリバリに焼けただけ、注射針が入りません。学生は力を振りしぼり、お互いに友の名を呼んで励まし合っていました。間もなく一人、二人と息絶えていきました。

この悲惨な状況が、原子爆弾によるものであることを知ったのは、翌日のことでした。

三ツ山での救護活動

爆心地から離れた場所にある三ツ山は、田園風景の広がるのどかな土地で、ここを救護活動の陣地にしようとして永井先生が判断をなさり、私たちは医療隊を組んで出向きました。

三ツ山では、負傷者の数が日々増加し、朝は暗いうちから夜遅くまで巡回治療

が続けられました。ハエや蚊が多い季節で

したから、傷を負った頭蓋骨についたウジを除いても、明日はまたいつはいるという状態です。中には、自分で川の水で泥をゆるく練り、全身の火傷に塗る人もいました。それでは菌が入るので川で洗って冷やしてあげたり、身体が痛くて苦しんでいる人には、近くに湧き出る鉱泉で洗ってあげるなど、できることは一生懸命しました。医療器具もほとんどないため、医療らしいことを何にもしてあげられず悔しい思いをしました。

その後、終戦を迎えしばらくして、三ツ山の救護隊はひとまず解散しましたが、私は間もなく救護活動に出向きました。診療所は、新興善国民学校(長崎市・旧新興善小学校)や大村の方などを転々としてきました。私たち看護婦は髪の毛が抜けたり、鉄欠乏性貧血になりながらも使命感に燃え、休むことも忘れて動き回っておりました。

語り部の活動を通して

現在、私は永井先生の平和への思いを継承するために、語り部として活動を続けています。以前、大学生から、「久松さんはなぜ、その当時、戦争に反対しなかったのですか?」という質問がありました。私は、「憲兵さんがおられてね、そげんこ

とでも言ったら、生きておられんやうだよ」と答えたのですが、自由にものが言

えない社会は、今の若い人には想像しにくいらしく、その学生さんは日本にそんな時代があったことを驚いておりました。私は、「平和」について考えるとき、その基本は家庭にあると思っています。家族一人ひとりがお互いを大切に協力しあつて、笑顔がたえない明るい家庭をつくる。そうした中で、愛や平和の心が育まれていくと思います。

そして人間はお互いの違いを認め合うことが大切です。先生も、「とことん話しかけて、それぞれの人格を認めなさい」とおっしゃっていました。

今、世界で紛争が起きていますが、先生が生きていらしたら残念がるだろうと思います。とにかく、命を大切にしてください。一回限りしかない尊いものなのですから。



永井 隆 医学博士 (1908~1951)

島根県出身。長崎医科大学卒業。同大学物理的療法科主任助教授のとき被爆。大けがを負い、妻を失ったが、積極的に被災者の救護活動にあたった。その後、如己堂の病床から、「ロザリオの鎖」「この子を残して」「生命の河」など、数々の著作を世に送り出すなどして、恒久平和を訴え続けた。



▲ 新興善国民学校内の仮診療所内の病室



■ 如己堂(長崎市上野町)

永井博士の病室兼書斎。建物の名は「己の如く隣人を愛せよ」という聖書の中の言葉から永井博士が名付けた。

有明海プロジェクト

有明海の環境と漁業資源にいま何が起きているのか

科学研究補助金 基盤研究(S)「有明海の環境変化が漁業資源に及ぼす影響に関する総合研究」

研究代表者 水産学部長 中田英昭 教授

※科学研究補助金 基盤研究(S) わが国の学術を振興するため、独自の・先駆的な研究を格段に発展させる研究に対し、文部科学省が研究費を助成するもの。

有明海の環境や生態系の変化をとらえる

有明海は西日本の代表的な沿岸海域の一つで、古くからさまざまな生物資源の宝庫として知られています。ところが、最近ではアサリやタイラギをはじめ魚介類の漁獲量が急激に減少し、赤潮により養殖ノリの生産量が著しく低下するなど、その豊かな生産力に大きな変化が見えはじめています。そこで私たちは、有明海の環境や生態系の変化について調査と分析を進め、その漁業資源への影響を総合的に解明しようとしています。ノリ不作の問題を契機として、国や沿岸各県の大学その他の研究機関でその原因究明のための調査が進められている中で、私たちの研究は、有明海の環境と漁業資源を包括的に一つのシステムとしてとらえ、その変化の全体像をできるだけ長期的に見極めていこうとしている点に特徴があります。この研究の成果をふまえて、さまざまな沿岸開発の影響を受けて環境悪化が進んでいる有明海の現状を的確に診断し、その将来にわたる保全と利用のための新たな指針を提示したいと考えています。

これまでの研究で分かってきたこと

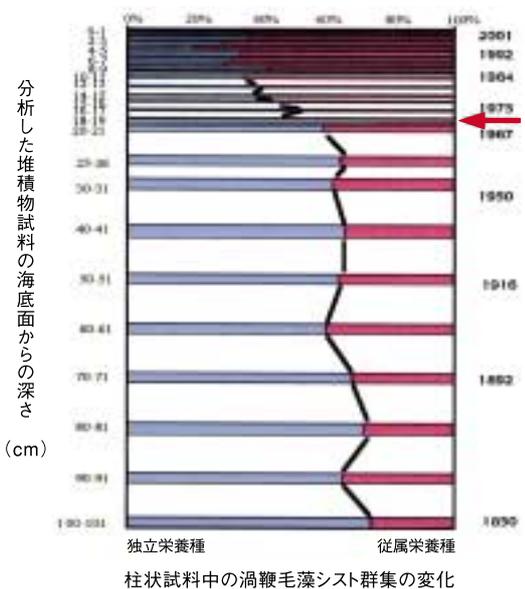
この研究では、これまで有明海で蓄積されてきたデータを活用して、有明海の

環境や生物生産、漁業資源の年代的な変化に関する解析を進めるとともに、データや情報が少ない潮汐に対応した海の構造の変化、プランクトンの季節的な動態、各種生物間の相互関係、環境ホルモン物質による汚染、さらには堆積物から見た過去百年規模の長期的な環境変化などについて現場調査を進めてきました。以下に、新しく分かってきたことをいくつか紹介しましょう。

◆「有明海異変」の兆候

有明海奥部の諫早湾付近で採取した堆積物の年代測定とその中に含まれる微小生物化石(渦鞭毛藻シスト)・沿岸域に分布する主要なプランクトンの一つで、その休眠細胞はシストと呼ばれ、化石として保存される)の計数を行った結果、一九七〇年代に入っ

た頃から従属栄養種(増殖に必要な有機物を外部に依存している種類)の割合が急増してきました(図1)。一九六〇年代までの百年間はほとんど変化が見られないことから、これは



(図1)

諫早湾の堆積物に含まれる渦鞭毛藻シストの群集組成の年代的な変化。1970年代に、光合成によって有機物を自ら生産することのできない従属栄養種(赤色で表示)の割合が急に増加しはじめていることが分かる。(松岡数充教授 提供)



水産学部長 中田英昭教授
Hideaki Nakata

一九七〇年以降に有明海奥部の富栄養化が急速に進行したことを示唆しています。それはスナモグリ類などの底棲動物の生物量や養殖ノリの生産量が急激に増加した時期ともよく符合しています。その一方で、一九八〇年代に入ると貝類などの漁獲量は減少傾向を示すようになり、それは有明海の奥部ほど顕著であることが分かってきました。最近はい類が増加し始め、それが貝類を捕食することの影響も懸念されています(写真1)。こうした漁業資源の増減の要因を解明することはこれからの重要な課題です。

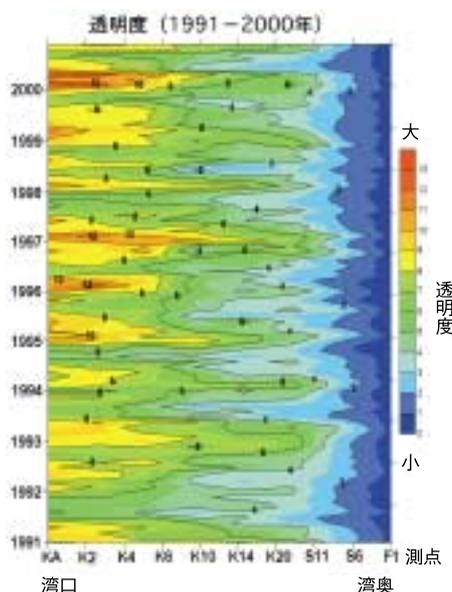


(写真1)

ナルトビエイ
中央の丸印は生活実態を調べるために行っている放流追跡調査用の標識。
(山口敦子助教授 提供)

◆「きれいに濁った海」から「きたなく澄んだ海」へ

一九九〇年代(特にその後半)に、有明海の透明度が上昇していることが分かってきました(図2)。有明海では、河川から運び込まれる多量の泥と日本最



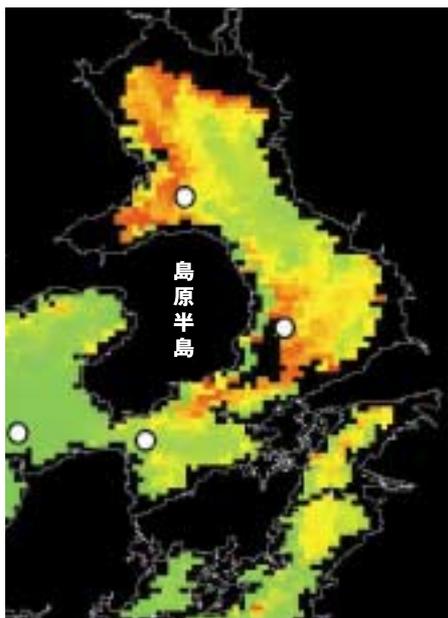
(図2)

有明海における1990年代の透明度(m)の変化(左側が湾口、右側が湾奥)。1990年代後半に透明度の高い場所(暖色系の色で表示)が広がっていることが分かる。
(※数値が大きいほど透明度は高い。透明度0mは非常に濁っている状態)

大の潮汐の作用により沿岸に干潟が発達し、海水が濁った状態が維持されているために、それが富栄養化や赤潮の発生を抑制する働きをしてきたといわれていますが、この透明度の変化は有明海の濁りの状態に最近何らかの変化が起きたことを示しています。漁業者は、今の有明海の状態を昔の「きれいに濁った海」と対比して「きたなく澄んだ海」と形容しています。その原因や赤潮発生などとの関連をさらに明らかにしていくことが必要です。

◆人工衛星で赤潮を監視する

人工衛星の画像を利用することによって、赤潮の発生状況を迅速に知ることができるようになってきました(図3)。赤潮の原因となるプランクトンの増殖は、有明海に流入する河川からの栄養供給



(図3)

人工衛星画像の解析で得られた有明海における植物プランクトン色素量分布の一例(2001年10月14日)。赤色の部分は植物プランクトン濃度が非常に高く赤潮状態になっている海域を示す。白丸は水産学部の練習船(鶴洋丸)でこのときに集中観測を実施した測点を表す。
(石坂丞二教授 提供)

と密接に関連しており、河川の影響を大きく受ける河口域としての有明海の実像が次第に明らかになってきました。

この他、有明海沿岸の泥干潟の一部では、環境ホルモン物質による汚染が進行しはじめていることが分かってきました。干潟の底泥は一度汚染されるとその回復に長い時間がかかります。有明海の干潟はさまざまな生物によって利用されていますので、今後の推移を注意深く

監視していくことが必要です。

調査研究の連携をはかる

拠点づくりへ

長崎大学は、有明海の沿岸に立地する大学のひとつとして、近隣の他の大学と連携しながら、有明海の環境と資源の保全・利用のあり方などについて責任あるメッセージをたえず発信していく重要な役割を担っています。昨年は、佐賀大学・熊本大学と合同で学術講演会を開催しましたが、今年秋にはその第二回目の会合を長崎大学で開催する予定です。この研究プロジェクトを有明海の環境と資源の回復をめざす調査研究の連携をはかる拠点としてこれからも機能させていきたいと考えています。

オーケストラ音楽の豊かな感動を届けたい。

■一九五三年創立の伝統あるサークル

大編成ならではのスケール感と、さまざまな楽器が織りなす多様な響きで、人々を魅了するオーケストラ。長崎大学管弦楽団は、その感動をひとりでも多くの人に届けようと、半世紀以上も活動を続けていく伝統あるサークルです。

活動の拠点となる文教キャンパスのサークルセンターでは、いつも熱心に練習する団員たちの姿があります。

演奏は、気温や湿度、奏者の気分や体調によって微妙に違ってくるデリケートなものです。だからこそ、毎日くり返し練習して演奏力を鍛えるという部長の「百優子さん(教育学部三年)。「オーケストラは、各人がパートの役割を理解し、責任を持って演奏することが大切。そうして総合練習に挑むと、何とも言えない一体感が味わえるのです」。また、楽器を弾く魅力を、「高い音が出せるようになったとか、きれいな姿勢で演奏できるようになったとか、段々と成長する自分を実感できる」とか「だ」といいます。

■オーケストラ音楽の感動を子供たちへ

長崎大学管弦楽団は、入学式・卒業式など大学行事での演奏の他、学外における活動も活発に行っています。「特に力を入れているのは、毎年五月に長崎ブリックホールで行うサマーコンサートと十二月の定期演

▼ サマーコンサートのリハーサル。指揮者は福田隆氏。



長崎大学管弦楽団

▼ 週3回ある練習日以外でも、必ず誰かが練習しています。



学生時代を謳歌するならばやっぱりサークルでしょ。



We Love Circle



▲ 今年のサマーコンサート。ドヴォルザークの「新世界より」他2曲を演奏。

奏会です。著名な指揮者をお招きし、半年かけてつくり上げた曲を披露します」。無事にやりとげた後は、大きな達成感に包まれるそうです。

また、依頼があれば地域の養護学校や小学校などにも出向きます。「小さな音楽教室や体育館などでの演奏は観客との距離が近く、子供たちの楽しそうな表情が見れてうれしいですね」。

■先輩・後輩の交流が盛んなサークル

二年生以上の団員数は現在四十三名。一年生も順調に増え続けています。この春、入団した指方健人さん(教育学部一年)は高校のブラスバンドではチューバを吹いていましたが、「自分の音楽性を広げようと思って、入団後チェロをはじめました。新しい発見があつて面白いですよ」。また、小学生の頃からオーケストラを経験してきたヴァイオリンの小林知弘さん(教育学部一年)は、「このサークルは先輩・後輩の交流が盛んで雰囲気がいい。今後は、弦楽器を弾く人がもう少し増えて欲しいので、高校の後輩を誘っているところです」。

楽器は初めてという人でも、先輩たちがきちんと指導してくれます。興味のある人は、ぜひチャレンジしてください。



◀ 部長の二宮さんはトロンボーンを受け持っている。

◆「たくさん食べて大きく育てる」の落とし穴

戦後の食糧難を経て飽食時代を迎える過程において、日本は「たくさん食べて大きく育てよう」を健康目標にしています。その効果は絶大で外国人と比べても見劣りしない立派な体格となり皆、歓喜しましたが、そこに思わぬ落とし穴が待っていました。過食による心身への悪影響が増加の一途をたどっていたのです。そこで、適量をバランス良く食べ、「**食べ過ぎは駄目**」、「**偏食や欠食は駄目**」など健康に対する考え方を大きく変えざるを得なくなってきました。

◆子どもにまで拡大した生活習慣病

過食による弊害の最たるものは肥満です。今や生活習慣病の元といわれています。この肥満と、高脂血症、糖尿病、高血圧の4つを合わせて「死の四重奏」と呼ばれています。というのも、これらは互いに合併しやすく加速的に動脈硬化や心筋梗塞を引き起こし、死に至らしめる場合があるからです。生活習慣病は、過食による肥満や**痩せの肥満**のほか、運動不足、ストレス、喫煙や飲酒などの生活習慣の乱れも相まって、これまで成人の病気といわれていましたが、今や小中高生の低年齢層にまで拡大しています。

※ 痩せの肥満

体重はほぼ標準だが、筋肉や骨が減少し、体脂肪の割合が多い状態をいう。動脈硬化・骨そしょう症のリスクが高い。隠れ肥満ともいわれる

◆心身に影響を及ぼす食事の重要性

食事は、体内時計に従って**1日3食(朝・昼・夜)**が基本です。さらには、個々人の状態(肥満、高血圧、糖尿病、低血糖症、痛風、高脂血症など)を考えた食事の質と量、食事の方法とタイミング、食品の持つ有効成分の活用などがますます重要になってきました。

また、食事は子どもと大人の区別なく、記憶力、集中力、注意力、習得力、作業力、運動能力などに影響を及ぼし、特に、幼児童期の栄養不良(食事の偏りで必要な栄養素が適切に摂れていない状態)は心の発育に影響し、「キレやすい」「暴力的になる」など、心の安定を阻害するともいわれています。さらに、食物アレルギー発症の増加に伴い、厚生労働省は「アレルギー物質を含む食品の表示義務」を制度化(2002年)し、卵、乳、小麦、そば、落花生の5品目に表示義務を課し、その防止対策に乗りだしました。

◆ファッション化する食事を見直そう

以上、述べただけでも、食事の心身に及ぼす影響がいかに大きいかがお分かりいただけたと思います。「好きなときに、好きなものを、好きなだけ」食べる、「食事はファッション」というような食生活は、「たかが食事」という傾向の表われです。肥満を減らし、生活習慣病を予防するためにも、「されど食事」の食生活が不可欠ではないでしょうか。



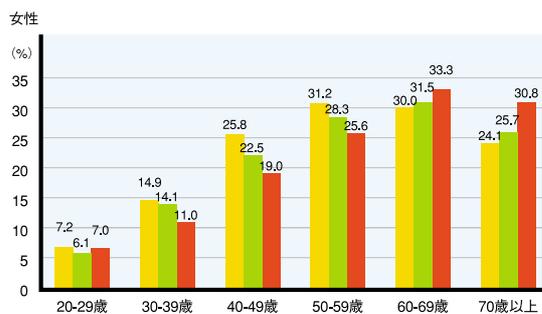
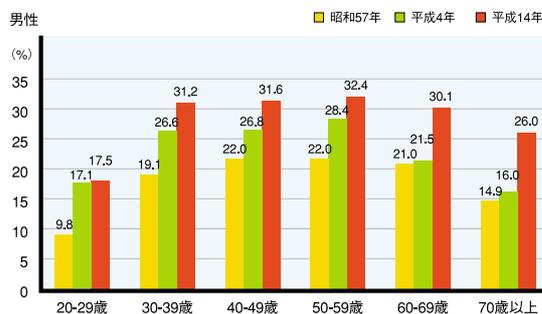
教育学部教授 玉利 正人

Masato Tamari

専門分野:農芸化学、食品栄養生化学

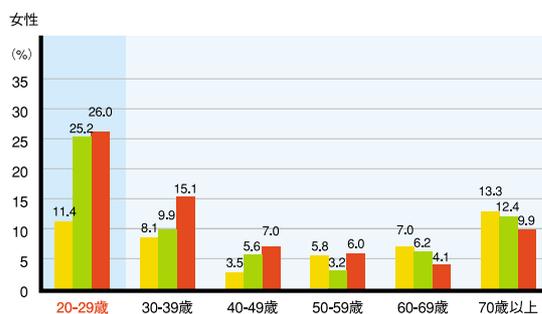
■ 肥満者(BMI \geq 25)の割合

いずれの年齢層も20年前より1.5倍程度増加。男性は30~69才の約3割が肥満者。女性は60才以上で肥満者の割合が多く約3割。



■ 低体重(やせ)の者(BMI<18.5)の割合

20年前より20~30代女性は低体重(やせ)者が2倍になっている。



(平成14年度国民栄養調査結果)

※ BMI (Body Mass Index: 体格指数)
体重と身長バランスをチェックして肥満度をみる指数。
BMI=体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)

世界に開かれた グローバル コミュニケーション 長崎大学

国際的な学术交流で、
人も学問もより豊かに。

長崎大学では、現在、63の外国の大学や研究機関と学术交流の協定を結んでいます。すでに、教職員・研究者・学生の交流をはじめ、共同研究や、講義、講演、シンポジウムの実施、学術情報の交換などさまざまな活動が積極的に行われています。

これらの交流を通して、本学における教育・研究の国際的な高水準化を図っています。同時に、各国の文化や考え方の相違を理解し、国際舞台で活躍できる豊かな人材の育成をめざします。

今後も、世界的な知のネットワーク構築の拡大と充実に努め、世界平和につながる国際交流を推進していきます。



第11回 韓・日音楽交流会
2003年5月24日 於 韓国慶北大学校

韓国

- 済州大学校 [1991 (工学部・水産学部)]
- 慶北大学校芸術大学 [1991 (教育学部)]
- 啓明大学医学部 [1991 (医学部)]
- 嶺南大学校工科大学 [1993 (工学部)]
- 釜慶大学校 [1997 (水産学部)]
- 江原大学校 [2002 (工学部)]
- 晋州保健大学 [2002 (医学部)]
- 昌原大学校 [2002 (教育学部)]
- 麗水大学校 [2002 (水産学部)]
- 仁荷大学校 [2003 (水産学部)]
- 漢陽大学校 [2003 (教育学部)]
- 延世大学校 [2003 (教育学部)]
- 韓国海洋研究院 [2004 (水産学部)]

台湾

- 国立陽明大学 [2002 (医学部)]

アメリカ

- ハワイ大学教育学部 [1985 (教育学部)]
- サウス・カロライナ大学 [1992 (水産学部)]
- ミシガン州立大学人間医学部 [2002 (薬学部)]
- アリゾナ大学 [2002 (環境科学部)]
- メリーランド大学バルチモア校 [2003 (医薬学総合研究科)]

フィリピン

- フィリピン大学ディリマン校 [2001 (熱帯医学研究所)]
- セントルークス医療センター [2004 (熱帯医学研究所)]

ベトナム

- 国立衛生疫学研究所 [2001 (熱帯医学研究所)]

マレーシア

- マレーシア科学大学 [1995 (水産学部)]

シンガポール

- シンガポール国立大学医学部 [1987 (医学部)]

交流協定締結大学・機関

※ [] は締結年と長崎大学の締結(主幹)部局

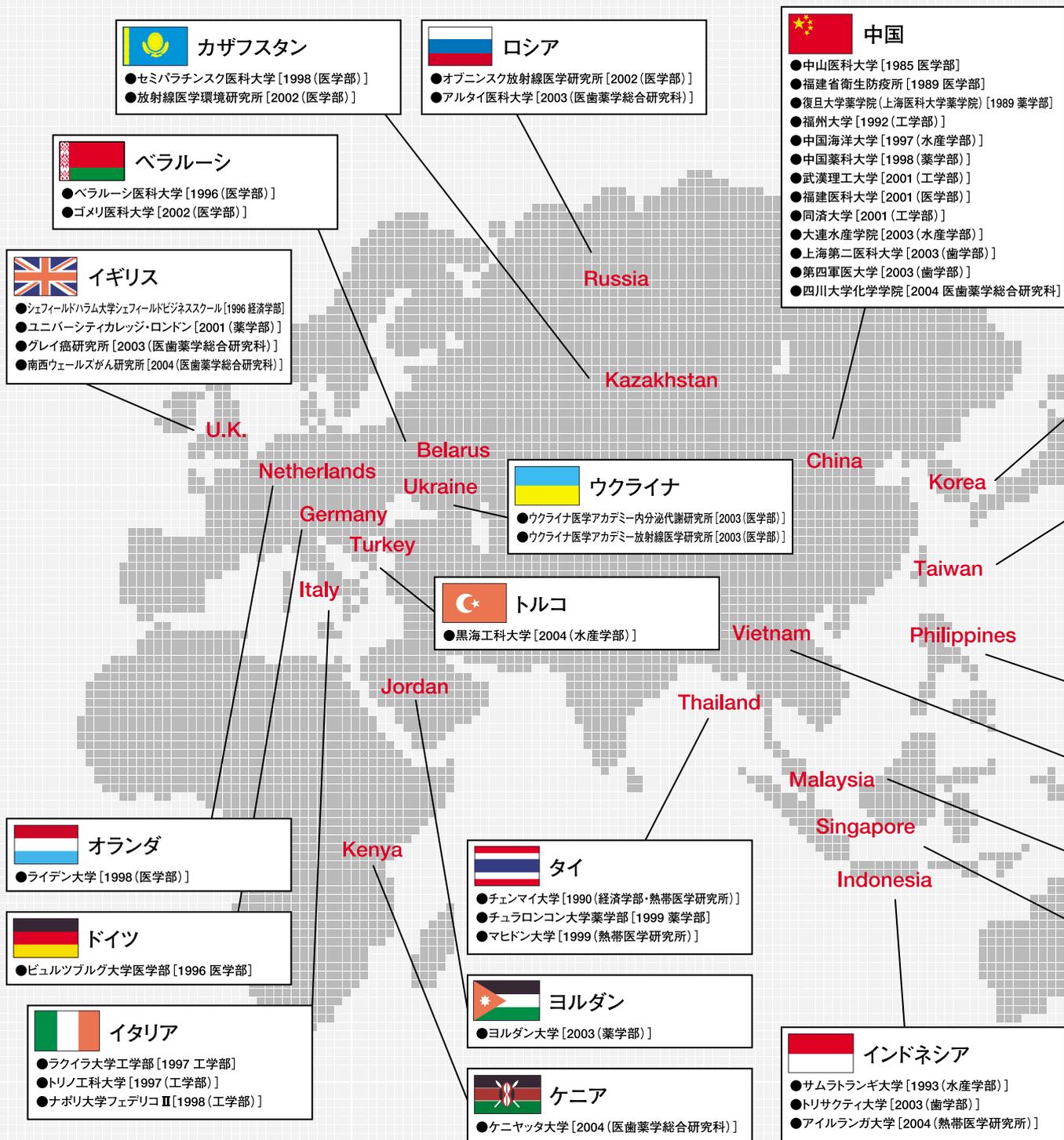
李さんの故郷であるハルビン市は、中国の最北部に位置する黒龍江省の省都。この地方の経済や文化の中心的存在です。ハルピンは百年ほど前、帝政ロシアの支配下にあり、その時の開発で小さな村から近代的な大都市へと変貌を遂げました。「ロシアはパリを意識してハルピンの街を造ったそうです。石畳の道路やロシア風の建物など当時のものが今も残っていて、東方の小パリとも呼ばれているんですよ」と李さん。どこかエキゾチックな香りが漂うこの街には外国人も多く住んでいます。「もっとも多いのがロシア人、次がたぶん日本人。日本の大企業が入ってきているんです」。



李 喬
リ キョウさん (27才)
大学院経済学研究所

異国情緒漂う
東方の小パリ

CHINA Harbin



Global Communication



「日本に留学して六年が経つ李さんは今、「長崎中国留學生学友会」の会長として中国人留學生の勉学や生活を支援する活動を行っています。「現在、私費で留学する人が増え、ほとんどがアルバイトをしながら勉強しています。みんな一生懸命頑張っていますので、温かく見守ってください」。

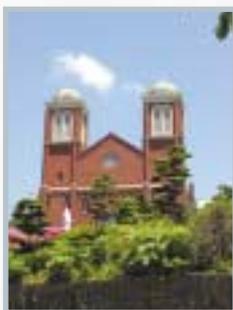
黒龍江省を含む中国の東北地方の主食は一般には小麦粉といわれています。「しかし、我が家ではお米が主食でした。料理は、牛肉とトマトを煮込んだスープなどロシア風のものもありますが、基本的には中華料理です」。ちなみに肥沃な土に恵まれた黒龍江省産のお米は中国でいちばんおいしいお米として有名だそうです。

ハルピンは、北海道の最北部と同じくらいの緯度にあります。冬になると北海道以上です。「冬になると川はトラックが走れるほど厚く凍ります。学校の校庭も凍るのでスケートができます。夏は扇風機がいらぬほど涼しいです」。しかし、「どんなに暑い日でも三〇度は超えなかったのに、十年ほど前から超える日が出てきました。地球の温暖化の影響だと思っています」。

浦上天主堂

古写真・昭和ルネサンス ②

環境科学部 若木 太一 教授

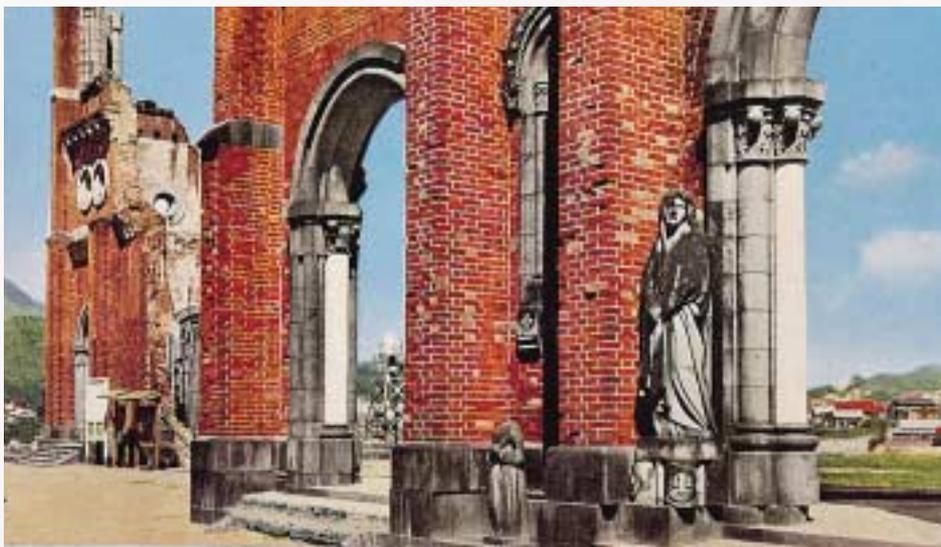


現在の浦上天主堂



■被爆前の浦上天主堂

明治6年(1873)、各地に潜伏していたキリスト教信者たちが浦上にもどり、明治28年(1895)フレノ神父の設計で建築が始まり、大正3年(1914)3月17日に天主堂が落成。同14年(1925)双塔が完成。この鐘楼にはフランス製の鐘がつけられ、日々鳴り響いていた。



■長崎・浦上天主堂

所蔵:長崎大学附属図書館/形状:絵はがき(カラー写真を凸版印刷)/サイズ:縦8.81cm×横13.7cm/
爆心地から北東へ500mの小高い丘にあった浦上天主堂は、原子爆弾で破壊され、わずかに数本の石柱とまわりのレンガの壁を残すのみとなった。現在の浦上天主堂は、戦後、昭和34年(1959)に鉄筋コンクリート建てで再建されたものである。

八月九日、浦上の朝

この写真(絵はがき)は、原爆で破壊された浦上天主堂の遺構である。天主堂は、ロマネスク様式煉瓦造りの壮麗な建築物であった。

昭和二十年八月九日の太陽が、いつものとおり平凡に金比羅山から顔を出し、美しい浦上は、その最後の朝を迎えたのであった。

川沿いの平地を埋める各種兵器工場の煙突は白煙を吐き、街道をはさむ商店街のいらかは紫の浪とつらなり、丘の住宅地は家族のまじいを知らず朝餉の煙を上げ、山腹の段々畑はよく茂った諸の上に露をかがやかせている。東洋一の天主堂では、白いベールをかむつた信者の群が、人の世の罪を懺悔していた。

永井隆博士著『長崎の鐘』の冒頭部である。この直後、午前十一時二分、浦上の上空で原子爆弾が炸裂し、浦上の丘は地獄と化した。当時、永井先生は長崎医科大学の物理的療養科主任助教授であった。

その瞬間をこう記す。「時計は十一時を少し過ぎていた。病院本館外来診察室の二階の自分の

室で、私は学生の外来患者診察の指導をすべく、レントゲンフィルムをより分けていた。目の前がびかっと閃いた。

まったく青天のへきれきであった。(中略)その時すでに窓はすぼんと破られ、猛烈な爆風が私の体をふわりと宙に吹き飛ばした。私は大きく目を見開いたまま飛ばされていった」。

木造の基礎医学教室は爆心地に近く、瞬間に吹き飛ばされ教授も学生もみな全滅したが、コンクリート建ての臨床医学教室の方では運良く生き残った者もいた。永井先生は傷を負ったがただちに救護に当たった。

「細菌教室へ行ってみると、実験室の焼け跡の灰の中に先生方であろう幾つかの黒焦げの骨がある。大体部屋の見当をつけて女性の骨を見つけた。これが辻田君であろう。この骨はもう「ネエ、ほほ！」とは笑わない。紙に拾い集めながら、夢ならば夢ならば、と繰り返す。蝸ちゃんが授業を受けていた講堂の焼け跡に来る。しらじらと陽に光る灰の中に、ああ、整然と並んでいる幾十の黒骨。この中にわが片岡君もまじっているのか。」



■浦上天主堂遺壁

(爆心地公園:長崎市松山町)被爆した天主堂の側壁の一部。新しい天主堂の再建にあたり昭和33年(1958)にこの地に移築。長崎原爆資料館内にも側壁の一部が再現されている。

平和の尊さを感じて

死者 七三、八八四人
重軽傷者 七四、九〇九人
罹災者 一一、八二〇人
罹災戸数 一八、四〇九戸(半径四キロ以内)
(一九五〇年七月、長崎市原爆資料保存会発表)

一九七六年、長崎市が国連に届けた原爆被害、死傷者報告では二十七〜二十八万人が直接被爆し、うち七万人が一九四五年末までに死亡し、一九五〇年までにはおよそ十万人を超えたと推定している。言葉には言い尽くせない惨禍に憤りがこみ上げてくる。

坂本キャンパスにぐびろが丘慰霊塔、被爆クスの木、文教キャンパスには旧師範学生の慰霊碑、校門の脇には三菱長崎兵器製作所大橋工場での女子挺身隊、学徒報国隊などの死亡者、負傷者の碑がある。

この累々たる屍を踏みしめて、私たちは毎日を通している。はるかに浦上天主堂をのぞみながら、あらためて時代の幸運と平和の尊さをしみじみ感じるのである。

INFORMATION

☎ 携帯電話で 長崎大学附属図書館へアクセス!

開館時間や図書検索などの図書館情報を携帯電話でチェックできるようになりました。学内はもちろん学外の方々も大いにご利用ください。

メニュー

0. お知らせ
1. 開館時間
2. 休館予定
3. 図書検索
4. 雑誌検索

URL

i-mode EZweb

<http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/i/index-j.html>

Vodafone

<http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/v/index-j.html>

EZweb は上記の他に

<http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/ez/index-j.html>

※lb (エル・ビー)

詳しくは

長崎大学附属図書館ホームページをご覧ください。

<http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/sabis/mobileopac.html>

☎ 放送大学長崎学習センターが 長崎大学文教キャンパスに移転

今年春、放送大学長崎学習センターが文教キャンパスの総合教育研究棟内3階に移転しました。放送大学は、テレビとラジオで授業を行う正規の大学で、全国で10万人の方が学んでいます。大学卒業資格の取得や生涯学習など、目的に応じた科目をマイペースで自宅学習できます。

問い合わせ先 放送大学長崎学習センター

TEL(095)813-1317 FAX(095)813-1325

☎ 長崎大学 オープンキャンパス

8月19日(木)

文教キャンパス

時間	学部名	説明会会場
13:00~17:00	教育学部	中部講堂及び教育学部各研究室等
11:00~17:00	薬学部	全学教育棟102番教室及び薬学部
11:00~17:00	工学部	中部講堂及び工学部各学科研究室・実験室
13:00~17:00	環境科学部	環境科学部141番講義室及び各研究室等
13:00~17:00	水産学部	水産学部大講義室及び各研究室

片淵キャンパス

時間	学部名	説明会会場
13:30~15:40	経済学部	経済学部大講義室

坂本キャンパス

時間	学部名	説明会会場
14:00~16:30	医学部 <small>医学科</small>	医学部記念講堂
14:00~16:30	医学部 <small>保健学科</small>	医学部保健学科講義室等
14:00~16:30	歯学部	歯学部第1講義室及び第3会議室

受付時間 開始時間30分前から行いますので、開始時間前に会場へお越しください。ただし、工学部は開始時間1時間前(10時)から行います。

URL

<http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/nyushi/homon/open.html>

●長崎大学学生支援部入試課 TEL: 095-819-2111

☎ 九州地区国立大学 進学説明会

8月19日(木)

九州地区の各国立大学の担当者が長崎大学において、自大学・学部の説明や資料配付など、進学希望者へ情報提供を行います。

日時 8月19日(木) 10時~16時

場所 長崎大学学生会館談話室

URL

<http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/nyushi/homon/kyusin.html>

編集後記

国立大学法人長崎大学として、新たな船出をして3ヶ月が経過いたしました。大学運営の舵取りを学長の下で行っている6人の理事の方々に、それぞれ担当分野の航海図をわかりやすく示していただくとともに、所信を述べていただきました。なかなか見えにくいといわれている大学の中をより透明にし、地域の皆様から、そして世界中から魅力ある長崎大学として親しまれ、輝きを失わず発展し続けたいとの願いが込められています。

毎年この時期になると、平和への思いを新たにさせられます。自ら原爆の被爆者であり、恒久平和を願う語り部として活動されている久松シンノさんにご登壇いただきました。優しい語り口の中に、胸を打つものを感じられます。

「たかが食事されど食事」を3回の予定で連載いたします。世の中、健康についての関心が高い割には、おそろかにされがちな食事。正しい食生活の知識を身につけ、早速、実践なさってはいかがでしょうか。

TEL 095-819-2014 / FAX 095-819-2024
E-mail : www_admin@ml.nagasaki-u.ac.jp

■編集・発行◎長崎大学広報企画委員会(広報誌企画・編集専門部会)

■発行日◎2004年7月



古紙配合率70%再生紙を使用しています。

CHOHO

第8号アンケート

読者の皆様のご意見・ご要望をもとに、より充実したCHOHOを目指します。大変お手数ですが以下のアンケートにお答え下さい。ご回答はFAX(095-819-2024)をお願いします。なお、E-mail(www_admin@ml.nagasaki-u.ac.jp)でも受け付けております。

 長崎大学

◆年齢

◆性別

歳

男 ・ 女

① 今回よかったコーナーに✓をつけて下さい。(複数回答可)

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 【特集】 国立大学法人 長崎大学の航海図 | <input type="checkbox"/> 【グローバル・コミュニケーション】 |
| <input type="checkbox"/> 【恒久平和を願って】 長崎如己の会 久松シソノさん | 世界に開かれた長崎大学 |
| <input type="checkbox"/> 【研究】 有明海プロジェクト | <input type="checkbox"/> 【留学生のお国自慢】 中国 |
| <input type="checkbox"/> 【We Love Circle】 長崎大学管弦楽団 | <input type="checkbox"/> 【古写真・昭和ルネサンス】 浦上天主堂 |
| <input type="checkbox"/> 【たかが食事されど食事】 食と心と身 | <input type="checkbox"/> 【インフォメーション】・【編集後記】 |

② 今回の内容はどうでしたか? ✓をつけて下さい。

やさしい ふつう 少しむずかしい むずかしい わからない / おもしろい ふつう つまらない

◎ご意見・ご感想をお書き下さい。

③ 今後読んでみたいテーマなどありましたらご記入下さい。

◎ご自由にお書き下さい。

④ CHOHOをどこでご覧になりましたか?

⑤ その他、大学に対するご意見・ご要望がありましたらお聞かせ下さい。

◎ご自由にお書き下さい。

ご協力ありがとうございました!

長崎大学広報企画委員会(広報誌企画・編集専門部会)
〒852-8521 長崎市文教町1番14号 TEL 095-819-2014
E-mail : www_admin@ml.nagasaki-u.ac.jp